

# 伊豆の国市議会議員選挙公報

令和3年4月18日執行  
伊豆の国市選挙管理委員会

## みんなのミライ

### 自助・共助・公助

コロナ禍だから

**自助** 市民ひとり・ひとりが自分で、  
できることは何でしょうか。

**共助** 地域みんなで、協力できることは  
何でしょうか。

**公助** 市が提供できることは  
何でしょうか。

共に考えよう。

### 責務

私たちの社会は、この1年で大きく変化しています。自粛社会により人との関わりが極端に希薄になっています。健全な社会を作り出すことが難しい時代になり議員としてすべきことは、何なのか。

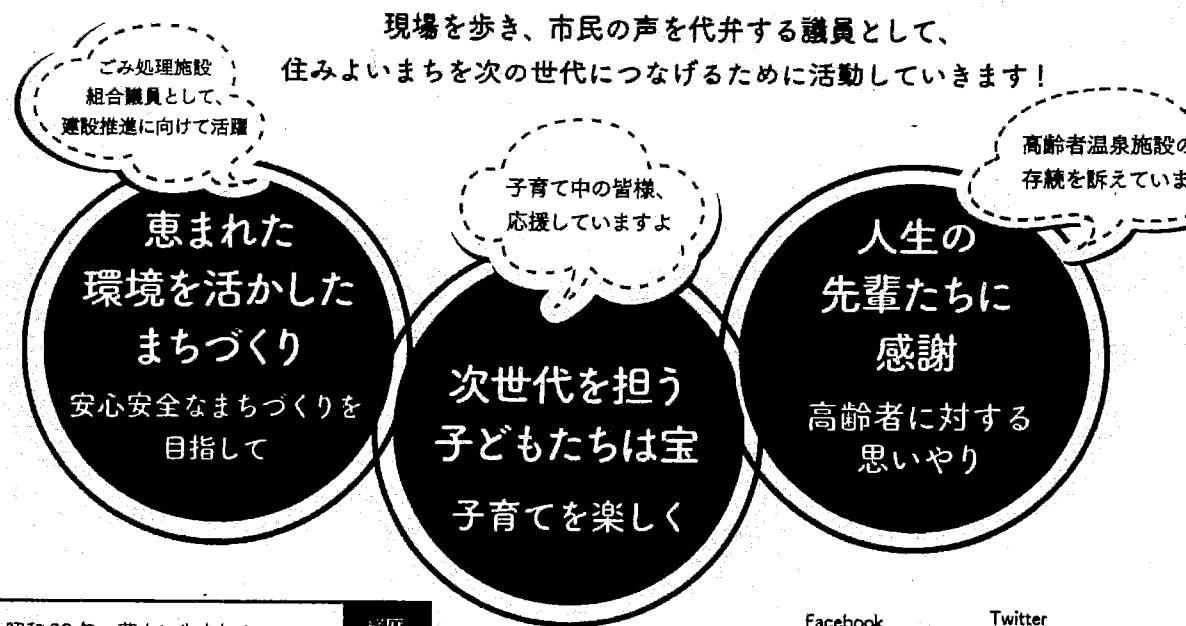
将来を担う者たちへ負の財産を残してはいけない。「みんなのミライ」の実現に声を上げ、市政が正しく執り行われるよう全力で取り組むことが私に課せられた責務です。



内田たかひさ

昭和29年生まれ(60才)

伊豆の国市議会議員候補



昭和30年 豊山に生まれる  
静岡県立三島北高等学校卒業  
明治学院大学社会学部社会学科卒業  
元社会福祉法人ちとせ会ちとせ保育園保育士



住みよいまちを  
次の世代に



無所属

## 34歳 地元を愛する僕だからこそ！

井川こうじろう



昭和六十年五月二十六日(三十四歳)

井川 こうじろう

### 『暮らしやすさ』



子育て世代や高齢者、障がい者など  
地元に住む人達にとって  
安心して暮らせるまちづくりを  
目指したい



### 『災害対策の強化』

地元の良さでもある自然環境  
(川、山、森)を守り抜き、  
最大限に活かしたい！  
そのために必要な災害に強い  
まちづくりを目指したい

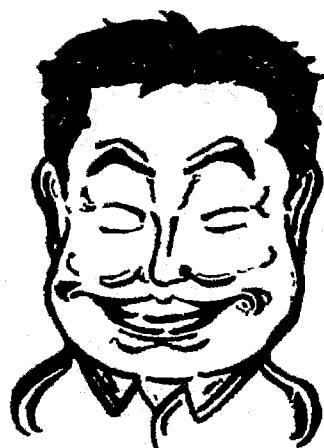
### 『雇用の促進』

大中小企業に関わらず、  
地元で働く人達にとって、  
より良い環境づくりや  
働く場所の増加、  
地域経済の活性化を目指したい

この公報は候補者から提出された原稿を写真にとって印刷したものです。

# 伊豆の国市議会議員選挙公報

令和3年4月18日執行  
伊豆の国市選挙管理委員会



## 長谷川ひろしの挑戦 !!



バレーをを通して学んだ、スポーツの力とは?

### プロフィール

伊豆の国市バレーボール連盟 会長  
関東学院大学バレーボール部 OB会 会長  
長岡ジュニアバレーボールクラブ コーチ  
長岡南小学校 PTA会長 (平成31年~令和元年)  
母・妻・長女(中3)・長男(小6)・次男(小5)

大切なふるさと  
伊豆の国市のために日々躍動します

### 体力

大きな体、大きな声  
笑顔で安心、安全な  
生活を守ります!

### 観察力

お年寄りから赤ちゃん  
まで、皆様の声を聞き  
一緒に考えます

### コミュニケーション力

地域、スポーツの交流  
これから皆様との  
出会いを大切にします。

### 行動力

どこへでも足を運び  
皆様に寄り添います

### 実行力

やるからには必勝!!  
あきらめず、力を  
出し尽くします

by Tomomi

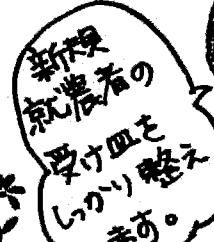
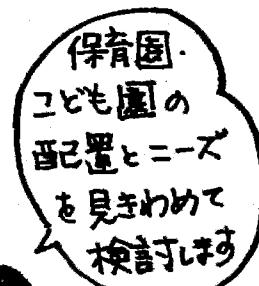
昭和35年3月12日生(61歳)



長  
ひ  
ろ  
川



## 今こそ!伊豆の国市を変えるチャンスです!!



たかこのanswer  
市のことと一緒に全国・立派の段階から市民の意見を聞く。そのルールを取り決めた文章の事です。自分たちのまちのことは自分たちで決める!! そんなまちにすることこそ地方自治のあるべき姿です。みなさんの声を市政に届ける!! 私にやらせてください!! 私にやらせてください!! これが私の仕事です。必ずやります。やる気まんまん

みんなの声でまちづくり!  
私は市民参加条例制定を目指しています  
?市民参加条例ってなに?



元FMいすのくにラジオ  
パーソナリティー  
山  
たかこ  
□  
新人・無所属

## 伊豆の国市長選挙・伊豆の国市議会議員選挙

投票日

4月18日(日)

午前7時から  
午後8時まで

投票日に仕事や旅行などの予定がある方は  
「期日前投票」をしましょう。

期日前投票所：伊豆の国市役所伊豆長岡庁舎  
蓮山支所・大仁支所は、投票できません。

4月12日(月)から4月17日(土)まで  
午前8時30分から午後8時まで

※第14投票所(高原公民館)  
第15投票所(みどり区自治会館)  
第21投票所(田中山公民館)  
第23投票所(浮橋公民館)

は午後6時まで

投票の際は体調管理に努め、  
マスクの着用をお願いします。

# 伊豆の国市議会議員選挙公報

令和3年4月18日執行  
伊豆の国市選挙管理委員会



高橋たかこはコスパNo.1! 使える!  
小さな声を集めて市政に届けます



高橋  
たかこ  
無所属  
50歳

まるく  
つながる  
やさしいまち

圧力にも屈しない!  
忖度しない!  
プレない!

10 花より団子

命あつての経済  
気候危機はまつたなし!  
地球規模で考え、地域で行動する  
スポーツ・音楽・文化活動をエンジョイ

自然のなかで謙虚に暮らす  
ダイレクトにストレートに訴える  
働くママの大変さがわかる!  
預り保育、学童の充実を。

自然薬有機栽培百姓「山の高橋農園」で  
公共施設は市民の財産!  
無農薬有機栽培百姓「山の高橋農園」で  
暮らしを楽しむ  
生き生き働く  
安全安心  
教育学びの場  
4つの施策

（全ての議会で一般質問に登壇。  
大河ドラマ関連事業は必要最低限に。  
預り保育、学童の充実を。  
（財政のムダ使いは許しまへんで！  
大河ドラマ関連事業は必要最低限に。  
預り保育、学童の充実を。  
預り保育、学童の充実を。

1 子育てまつさいちゅー  
2 働ぐママの大変さがわかる!  
3 やりくり上手の主婦だから  
4 ダイレクトにストレートに訴える  
5 自然のなかで謙虚に暮らす  
6 スポーツ・音楽・文化活動をエンジョイ  
7 地球規模で考え、地域で行動する  
8 気候危機はまつたなし!  
9 命あつての経済  
10 花より団子

高橋たかこ後援会

高橋たかこ後援会 検索



<https://takahashi-takako.jimdo.com>

## 誰にでも優しいまちづくり



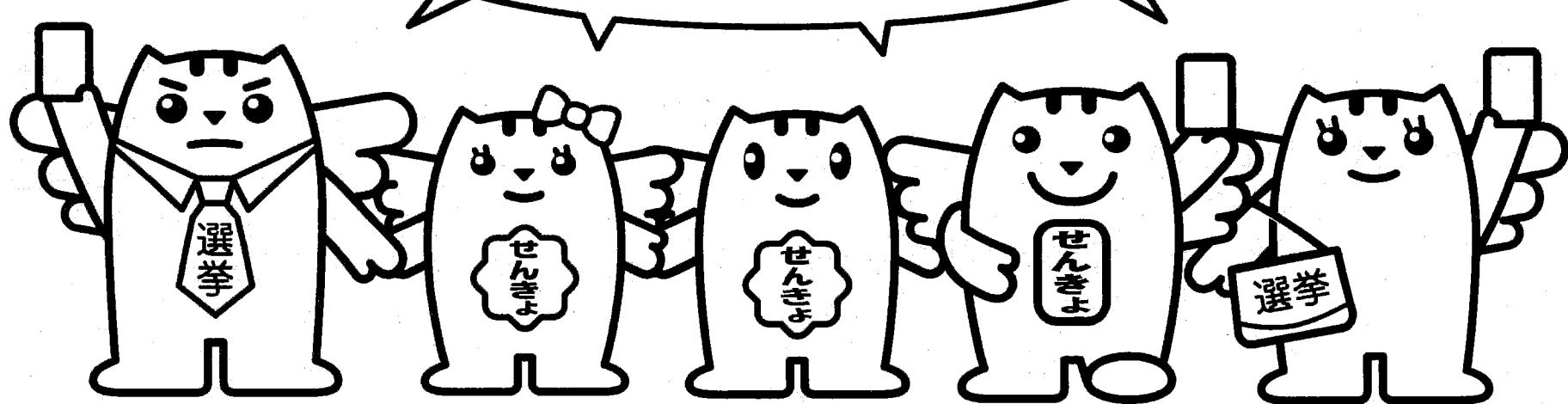
天野さより  
無所属  
昭和32年4月23日生

- 生涯学習・文化活動の支援
- 世代を超えた交流の場づくり
- ボランティア活動（福祉・防犯・防災など）の支援
- スポーツ活動の推進
- 医療環境の充実
- 福祉体制の強化
- 交通の利便性
- 防災体制の強化
- 基盤整備
- 公共事業の推進
- 農商工観光業などの産業支援
- 起業支援と育成・雇用の創出
- 障がい者・高齢者などの自立支援
- 地域資源を生かした魅力の情報発信
- 情報交換の場づくり
- 教育現場の情報共有・ネットワーク化
- 情報通信教育の推進
- 心の教育・社会教育の充実
- 歴史・伝統を守り育てる活動の推進
- 地域とつなげる取り組み

### プロフィール

家族	伊豆の国市南條出身 母、弟夫婦、甥・姪の6人家族	学歴	韮山小学校・韮山中学校 卒業 県立三島北高等学校 卒業	経歴	元 伊豆の国市商工会女性部長 元 県立伊豆中央高校評議員 元 社会福祉協議会 生活支援員 前 伊豆の国市議会議長 伊豆の国市議会議員3期 初代伊豆の国市消防団女性消防隊長
----	-----------------------------	----	--------------------------------	----	--

みんなで行こう。明るい選挙。



この公報は候補者から提出された原稿を写真にとって印刷したものです。

# 伊豆の国市議会議員選挙公報

## 令和3年4月18日執行 伊豆の国市選挙管理委員会



久保ひろあき  
くほ  
無所属

68  
歲

# 地域への声を

**市政の情報を正しく伝えます!**

今、伊豆の国市で何が起きているのか？議会で何が話し合われ、何が行われているのか？正しい情報を住民の皆様が共有し、正しい判断が行える、住民目線の情報提供を行います。

# 子どもの安全・お年寄りの安心!

昨年の『移住希望ランキング』で、静岡県は全国で一位となりました。自然の豊かさに加え、首都圏からの通勤圏にあるという事が評価されたのだと思います。

子ども達が安全な環境の中、伸び伸びと育つことができる環境づくりを進めます。同時に、お年寄りが安心して暮すことができる環境・医療体制づくりを進めます。

**災害に強い街づくりを進めます**

静岡県は、50年前から東海沖地震が起きるという事で様々な訓練や備えを  
きています。地震はいつ来るか判りません。伊豆の国市としての災害への備  
えを今とできているのでしょうか？

私たちにとって、地震に加えて水害も大きな問題になっています。

伊豆の国市の明るい未来の為に、『地域の声を市政へ!!』反映していきます。



# 米山のりお

へりつと環境を離れる  
社会を田舎して

- # ◆安全・安心なまちづくり

  - ・甚大化する自然災害に対する整備

- 暮らしやすい住環境整備

- ## ◆地域の活性化

- ## ・地域コミュニティの推進

- ◆ 住居・人口問題

- ## ・人口減少に対する対応

## 知識を活用した活動



**投票日に仕事や旅行などの予定がある方は  
「期日前投票」をしましょう。**

**期日前投票所：伊豆の国市役所伊豆長岡庁舎**  
**蓮山支所・大仁支所は、投票できません。**

**4月12日(月)から4月17日(土)まで  
午前8時30分から午後8時まで**

- ※第 14 投票所（高原公民館）
- 第 15 投票所（みどり区自治会館）
- 第 21 投票所（田中山公民館）
- 第 23 投票所（浮橋公民館）

**投票の際は体調管理に努め、  
マスクの着用をお願いします。**

# 伊豆の国市議会議員選挙公報

令和3年4月18日執行  
伊豆の国市選挙管理委員会

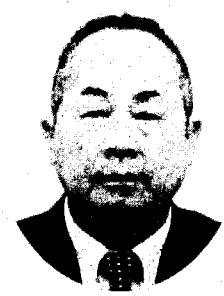
## ひとを思う心が未来を築く

### 子ども

### しごと

### 暮らし

安全で快適なまちに！



にとう武司

- ☆ 地域で見守り育てる子育て支援
- ☆ すべての人に活力場の提供を
- ☆ 治水・防犯・交通網の充実

## 未来 いざのくに 実現の施策



ハ木  
もとゆき

### ●観光・産業

- ①観光・商工業の活性化
- ②若い人に魅力のある農業づくり
- ③釜山反射炉を活用した観光づくり
- ④NHK大河ドラマを活用した観光づくり

### ●地域づくり

- ⑤災害に強いまちづくり
- ⑥自治会組織の育成強化
- ⑦地域公共交通の確保
- ⑧街並みの景観づくりの推進

### ●子育て・教育

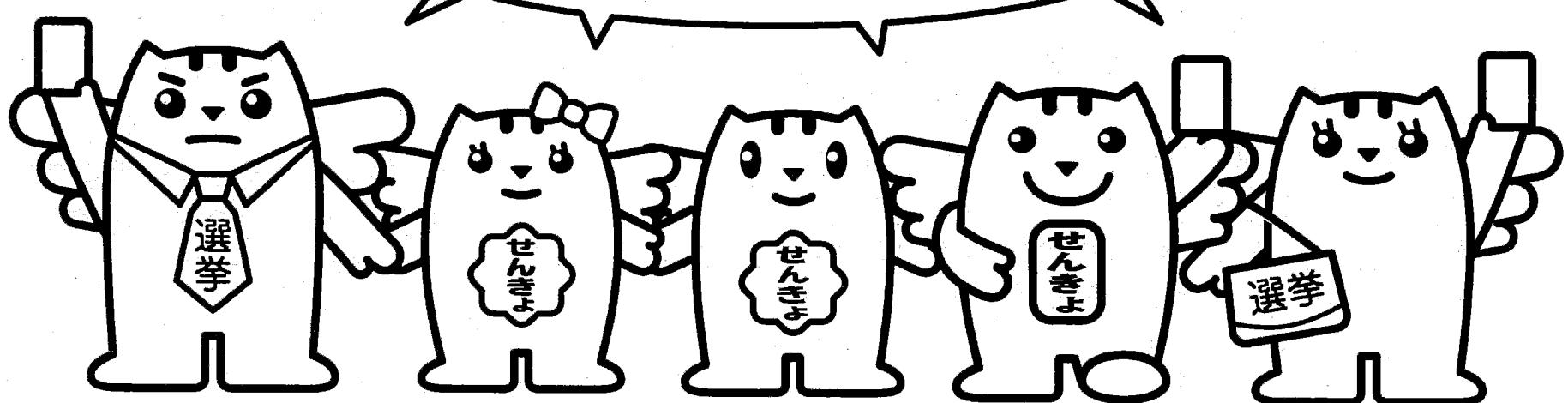
- ⑨安心して子育てができる環境整備
- ⑩学習支援の強化
- ⑪世代間育児交流の積極的推進
- ⑫生涯学習の充実

### ●健康・福祉

- ⑯温泉を利用した健康づくりの推進
- ⑮地域ボランティアの育成・拡充
- ⑭高齢者に優しい福祉事業の推進
- ⑬健康寿命の延伸

## 誰もが支えあい、笑顔いっぱいの躍動するまち

みんなで行こう。明るい選挙。



この公報は候補者から提出された原稿を写真にとって印刷したものです。

# 伊豆の国市議会議員選挙公報

令和3年4月18日執行  
伊豆の国市選挙管理委員会

## 主婦として、働く女性として、介護経験者として 視点を変えてまちづくり

視点を変えるとみえてくる  
より暮らしやすい伊豆の国市の  
新しいビジョンを提案します!



やる気！元気!! 勇気!!!  
おざわ 小澤さつえ

略歴  
昭和31年 捩野市生まれ  
平成2年～25年 中部ホールサービス機三島事業所勤務  
伊豆の国市議会議員  
伊豆の国市議会議員会議員会副委員長(平成29～30年)  
社会福祉協議会理事(平成29～30年)  
発達障害の支援を考える議員連盟 理事

◆ 安心・安全なまちづくり  
◆ 有無駄をばき  
◆ 有意義な財政確保  
◆ 一人一人の環境意識の向上  
◆ SDGsの達成に向けて意識向上  
◆ 古紙回収(資源節約・CO2排出削減など)  
◆ 生ごみ資源循環型農土香拡充の提案  
◆ 犬猫殺処分ゼロを目指す  
◆ 避難所運営のデジタル化  
◆ 時避難時の持出品の啓発グッズ作成  
◆ 空き家、空き店舗の活用(移住、定住)  
◆ 無電柱化推進  
◆ 通学路の整備促進  
◆ 山・森・河川整備の推進

◆ 3世代(じっせう)居場所づくり  
◆ 障がいがあつても安心して暮らせるまち  
◆ 高校生の居場所づくり  
◆ 公正で適正な予算執行と財政のチェック  
◆ 在宅介護の軽減対策支援  
◆ 交通弱者への支援

◆ 観光リースポーツの推進強化  
◆ 在地型の温泉療養の活用(湯治のまち)  
◆ 市民協働でまちづくり  
◆ 地域資源の活用(ひととx発信)  
◆ サイクルツーリズム推進  
◆ 観光リースポーツの推進強化  
◆ 在宅介護の軽減対策支援  
◆ 交通弱者への支援

### 主な活動

- 伊豆長岡温泉紙資源ごみ循環プロジェクト
- 七福神ロードプロジェクト(施設訪問・源氏山掃除・花壇手入れ)
- チーム防災 いすのくに活動 ●江間婦人学級 茶道会員 ●花のおもてなしプロジェクト

## 一人ひとりを大事にする暮らし・福祉まもる市政に



日本共産党 ようこ  
田原区在住(64才)

「市民が主人公」の原点  
つらぬきます

市議会へ送り出していただき16年、皆さんの声や要求をまつすぐ届け、市長提案の議案に対しても、常に市民の立場で質疑発言してきました。

暮らし・福祉、子育て応援に  
全力あげます

市民の要求実現のために、福祉と暮らしを守る自治体本来の役割が果たせるよう全力でがんばります。



◆ 「天河ドラマ館」に大盤振る舞いでなく、高齢者入浴施設、タクシーカード券、がん検診など後退した福祉・保健施策の復活  
◆ 高すぎる国保税の負担軽減  
◆ 「介護難民」作らない待機者解消、軽度の人にも必要なサービスを  
◆ 子育てしやすいまちへ全力  
◆ 広瀬公園プールリニューアル・オープンを

## 伊豆の国市長選挙・伊豆の国市議会議員選挙

投票日

# 4月18日(日)

午前7時から  
午後8時まで

※第14投票所(高原公民館)  
第15投票所(みどり区自治会館)  
第21投票所(田中山公民館)  
第23投票所(浮橋公民館)

は午後6時まで

投票の際は体調管理に努め、マスクの着用をお願いします。

投票日に仕事や旅行などの予定がある方は  
「期日前投票」をしましょう。  
期日前投票所：伊豆の国市役所伊豆長岡庁舎  
蓮山支所・大仁支所は、投票できません。  
4月12日(月)から4月17日(土)まで  
午前8時30分から午後8時まで

この公報は候補者から提出された原稿を写真にとって印刷したものです。

# 伊豆の国市議会議員選挙公報

令和3年4月18日執行  
伊豆の国市選挙管理委員会

市民の誰もが幸せに笑顔で暮らせるまちづくりを進めます

## 1 幸せと感じられるまち

ふだんの暮らしをしあわせに  
安心して生活を送るために、気軽に受け  
ことのできるサービスの提供が必要です。

## 2 輝かしい未来を望めるまち

未来を担う子供たちが安心して教育を受  
けることができる環境整備が必要です。

## 3 災害に強いまち

災害は、突然やってきます。安心安全な  
まちづくりを進めるうえで治水対策がま  
だまだ不足しています。

## 4 住み続けたいと思えるまち

人口の減少が危惧される中、空家等も目  
立ち始めています。  
また、歴史資源への興味から当市への関  
心を深める人も多くいます。

プロフィール 昭和33年(1958年)10月12日生まれ 62歳

【学歴】  
S5.2.3 日本大学三島高等学校卒業 H17.4 伊豆の国市役所(市町村合併による)  
S5.6.3 日本大学商学部経営学科卒業 H17.4 伊豆の国市役所退職(定年による)  
H2.4.4 教育部社会教育課配属 H3.1.4 伊豆の国市役所総務部  
H2.6.4 市民福祉事務所社会福祉課長 地域づくり推進課配属(再雇用による)  
S5.7.4 垂山町役場 入職 R3.2 退職

今、大きく時代が変わらうとしています。  
コロナ禍での新しい生活様式が進められ、  
勤務形態だけでなく、教育の形も変わらう  
としています。この様な中、市民の誰もがう  
笑顔で暮らせるまちづくりを進める必要が  
あると感じています。  
誰もが笑顔になることは多様で多大な  
サービスや施策を進めなければなりません。  
一度にすべてを整えることは厳しいこと  
から、私は次の事項に重点を置き進めてい  
きます。

【趣味】  
スポーツ観戦  
(陸上競技・サッカー)  
釣り(ルアーフィッシング)

山本あきひこ  
やまと  
もと  
無所属  
昭和33年10月12日生まれ

活気あふれる伊豆の国市を目指して!  
全力で取り組みます

## プロフィール

◆昭和53年  
日本大学商学部卒業  
旧伊豆長岡町役場へ奉職  
◆平成15年  
伊豆長岡町・垂山町・大仁町  
合併協議会事務局長  
◆平成17年  
企画部長、総務企画部長他  
◆平成28年  
伊豆の国市役所退職  
【地域活動】  
・旧伊豆長岡町消防団第三分団長  
(現在第1分団に統合)  
・旧伊豆長岡町子ども会連合会副会長  
【現在】  
・市議会議員1期目(H29~)  
・市都市計画審議会委員(H29~)

## 4 行財政改革による 市民目線による まちづくり

SDGsの取り組みを推進

## 3 地域の活性化 安全安心の まちづくり

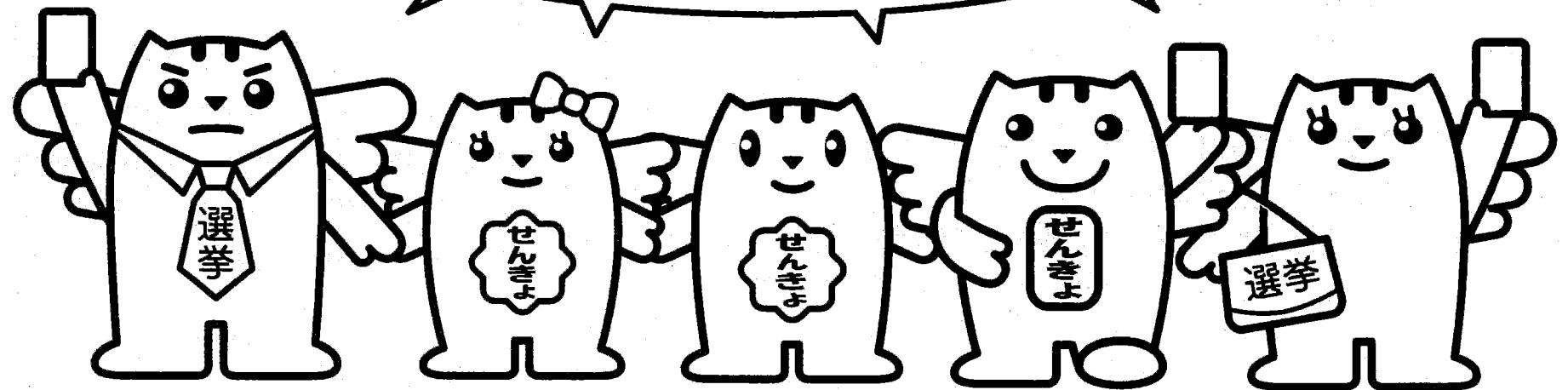
- ・若者が安心して働ける  
地域環境づくり
- ・狩野川流域の水害対策の強化
- ・通学路の安全対策の強化
- ・お年寄りや障がい者等の  
福祉サービスの改善強化
- ・子どもたちが生き生きと学べる  
教育環境整備の推進

## 1 やさしさあふれる まちづくり

- ・安心して子どもを産み、  
育てられる環境整備の推進
- ・順天堂静岡病院と連携した  
安心できる地域医療確保の推進

昭和  
30年4月12日生  
鈴木としはる

みんなで行こう。明るい選挙。



この公報は候補者から提出された原稿を写真にとって印刷したものです。

# 伊豆の国市議会議員選挙公報

令和3年4月18日執行  
伊豆の国市選挙管理委員会



昭和二十九年七月八日生（六六歳）

古屋えいじ  
無所属

- ◎「古屋えいじ」が提案して実現した主な事業
- 一 大仁中学校校舎建て替  
(平成十五年提案、平成二十二年完成)
  - 二 長岡スポーツワールド跡地への「しみ処理施設建設」に反対し、企業誘致を提案（＝企業が進出）
  - 三 田京駅前交差点の拡幅改良工事  
(平成十六年提案、令和三年度完成)

◎「古屋えいじ」が目指すまちづくり

- 一 安全で安心して暮らせるまちづくり
- ・ウイルスなど感染症対策の徹底と市民への支援
- ・高齢者のタクシー券の増額や利便性向上
- ・自然災害への対策強化、地域防犯対策の強化

- 二 新しい時代にふさわしいまちづくり
- ・「O-T時代」に対応する先進的なまち

- ・まちづくりは人づくりの観点から子供たちに国際感覚を

- ・働く女性の子育て支援と不妊治療の制度充実

三 行政改革の推進

- ・行政の予算、決算などを市民目線でチェック
- ・行政の無駄をなくし市民の求める事業の推進

四 議会改革の推進

- ・議会のインターネットによる動画配信の実現
- ・議会や議員有志による各地区公民館での議会報告



日本共産党  
中高原在住（67歳）  
田中正男

市政チェックする

議員の責任は重大



合併して16年。一昨年度から国の財政合併支援もなくなり、インフラ整備による返済も増え、厳しい財政となっています。さらに新型コロナの影響による歳入減、コロナ対策など今後も市政運営は難しい状況が続き、市政をチェックする議員の責任も重大です。

市民の暮らしを守り

住民が主人公の市政を

私は、行き届いた教育・子育て、医療・福祉の充実、地域経済活性化、災害対策、環境保全など市民が安心して暮らせる市政を目指して全力でがんばります

◇「天河ドーム館」に大盤振る舞いでな

- く、高齢者入浴施設、タクシー券、がん検診など後退した福祉・保健施策の復活

- ◇高すぎる国保税の負担軽減

- ◇「介護難民」を作らない待機者解消、軽度の人にも必要なサービスを

- ◇子育てしやすいまちへさらに全力

- ◇台風被害の防災対策はまつたなし

- ◇中小河川の内水・支川対策を

## 伊豆の国市長選挙・伊豆の国市議会議員選挙

投票日

4月18日(日)

午前7時から  
午後8時まで

※第14投票所（高原公民館）  
第15投票所（みどり区自治会館）  
第21投票所（田中山公民館）  
第23投票所（浮橋公民館）

は午後6時まで

投票の際は体調管理に努め、  
マスクの着用をお願いします。

投票日に仕事や旅行などの予定がある方は  
「期日前投票」をしましょう。  
期日前投票所：伊豆の国市役所伊豆長岡庁舎  
蓮山支所・大仁支所は、投票できません。

4月12日(月)から4月17日(土)まで  
午前8時30分から午後8時まで

この公報は候補者から提出された原稿を写真にとって印刷したものです。

# 伊豆の国市議会議員選挙公報

令和3年4月18日執行  
伊豆の国市選挙管理委員会

## 動きます!! 変えます!! をモットーに

困難な時代を超えて伊豆の国市に明るい未来を!



伊豆の国市長岡六〇五  
柴田みつとし  
無所属

### 新しい時代の観光まちづくり

ウイズコロナ、アフターコロナ社会のあり方を見据え、時代の変化に対応した観光のまちづくりを進めます。

### 市民の役に立つ市役所へ

市役所の「仕事の仕方」や「職員のあり方」を考え、これまで以上に「市・民の役」に立つ市役所に変えていきます。

### 子育てしやすい環境づくり

核家族化が進み、共働き世帯も増加する中で、「地域で子どもを育てるまち」へ、子育て、教育環境の充実に注力します。

### 健康で生きがいをもつて暮らせるまちづくり

本格化する高齢化の進展に対応し、お年寄りが健康で、心豊かに暮らせる生活環境の整備に努めます。

### 危機管理による安全・安心な地域づくり

地球温暖化の影響などで頻発する自然災害への対策を怠らず、市民が安全・安心に暮らせる地域づくりを目指します。

### 柴田みつとし 略歴

法政大学法学部政治学科卒業  
・伊豆の国市福祉文教経済委員会 委員長  
・伊豆の国市社会福祉協議会 理事  
・伊豆の国市観光協会 副会長  
・伊豆長岡温泉旅館協同組合 防災保健労務委員長  
・田方防火協会 理事  
・三島食品衛生協会 食品衛生指導員  
・株式会社ホテルサンパレー 役員  
・平成24年～伊豆の国市議会議員  
・家族 妻・子ども1人

## 「全力投球」 森下しげる の実績

初当選時から一貫して防災・減災対策を柱に、新型コロナや自然災害など市民の命を守る対策を推進してきました。



公明党公認  
もりした  
森下しげる  
昭和32年2月17日生(64歳)  
公明党

### 防災・減災

・防災指導員の拡充(当初0人から11人まで拡大)  
・「災害ボランティアコーディネータ」  
・「防災士」の資格を推進(自身も取得)  
・2019年の台風19号後の狩野川の堆積土砂の除去と護岸強化を国に依頼。現在実施中。  
※石井国土交通大臣(当時)、大口衆議院議員とともに狩野川放水路視察。

### 子育て・教育



・市内全小中学校『置き勉の解禁』を実現。  
・エアコン設置、耐震化100%を達成。  
・『子ども見守り隊』の立ち上げ。  
・市内防犯パトロールの強化(ヤマト運輸との子どもと高齢者の見守りの協定)

### 経済・街づくり



・市内点字ブロックの補修推進  
・車用「防犯マグネットステッカー」の作成配布。  
・福祉タクシー・バス利用券の利用方法拡大。  
・猫の去勢手術避妊手術の補助金予算の拡充。

### 医療・福祉・介護



・医療費助成を高校3年生まで拡充。  
・幼稚園教育の無償化を推進。(小学校入学まで)  
・ヘルプマークの推進。(県内初)  
・ヘルプカードの作成、配布。  
・耐震シエルター、最大12万円の補助。  
・防災ベット最大10万円の補助。  
・高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費助成を実現。

## 住みやすい「まち」を市民の力で!

- 共働き世代の育児支援を充実させ若い世代の移住を促進する。
- 3町合併後の「伊豆の国市」の在り方を再確認し、学校区の一本化、および市内の各イベントを充実させ住みやすい「まち」にする。
- 「鎌倉殿の13人」・東京オリンピック、パラリンピック等をきっかけに生活の活性化を促進し、シニア世代の活躍の場を充実する。

(プロフィール) 静岡県立(修善寺工業高等学校)、伊豆総合高等学校に41年間勤務。

同校において、自転車部、レスリング部、郷土芸能部の顧問において全国大会出場。  
立花台区長2期経験。

現在 伊豆の国市議会議員(1期)



伊豆の国市民の協力と創造力  
で活力ある町にする!  
久保たけひこ

